

台風第16号による瀬戸内海沿岸の高潮について

8月30日から31日にかけて日本を縦断した台風第16号により、瀬戸内海沿岸を中心に1mを越す大きな高潮(表1)が発生しました。特に、台風第16号の通過が年間で潮位の最も高い夏季の大潮期間の満潮時刻に近かったことから、過去の極値を超える極めて高い潮位となり(図1及び図2)各地で大きな被害を生じました。

今回の台風第16号による平常潮位からの大きな潮位偏差は、台風の通過に伴う気圧降下による吸い上げ効果に加えて、強風による吹き寄せ効果によって生じたものです。瀬戸内海中央部は、台風の南～南西の暴風に吹き寄せられて豊後水道より大量の海水が送り込まれ潮位偏差を増大させたものと思われます。

台風第16号通過後も日本南岸で10～20cm、瀬戸内海沿岸で10cm前後、沖縄本島周辺、日本海沿岸で10～20cm前後、平常より高い潮位を観測しています。大潮期間は継続しており、引き続き低地での浸水等に注意願います。

今後、台風の接近が予想される場合には、気象庁が発表する高潮警報・注意報、気象情報に注意してください。

表1 台風第16号による高潮観測表(速報値)

観測点	都道府県	最大潮位偏差 (cm)	起時	最高潮位 (TP上, cm)	起時
姫路(*)	兵庫	157	8/30 23h50m	238	8/30 23h50m
広島(*)	広島	148	8/30 18h40m	269	8/30 21h57m
松山	愛媛	140	8/30 17h49m	258	8/30 20h56m
宇野	岡山	137	8/30 22h16m	255	8/30 22h47m
神戸	兵庫	134	8/30 23h42m	177	8/30 21h24m
高松	香川	133	8/30 22h23m	246	8/30 22h42m
大阪	大阪	132	8/30 23h30m	183	8/30 21h24m
下関	山口	117	8/30 15h41m	144	8/30 09h48m
洲本	兵庫	92	8/30 22h26m	148	8/30 20h26m
淡輪	大阪	90	8/30 23h41m	162	8/30 20h40m

(注): TPは東京湾平均海面(標高の基準) 潮位偏差は天文潮位からの偏差。

(*)印は気象庁管轄外検潮所を示す。姫路は兵庫県、広島は海上保安庁管理宇野(統計期間1951年から)、高松(1949年)は、過去の最高潮位の極値を更新した。

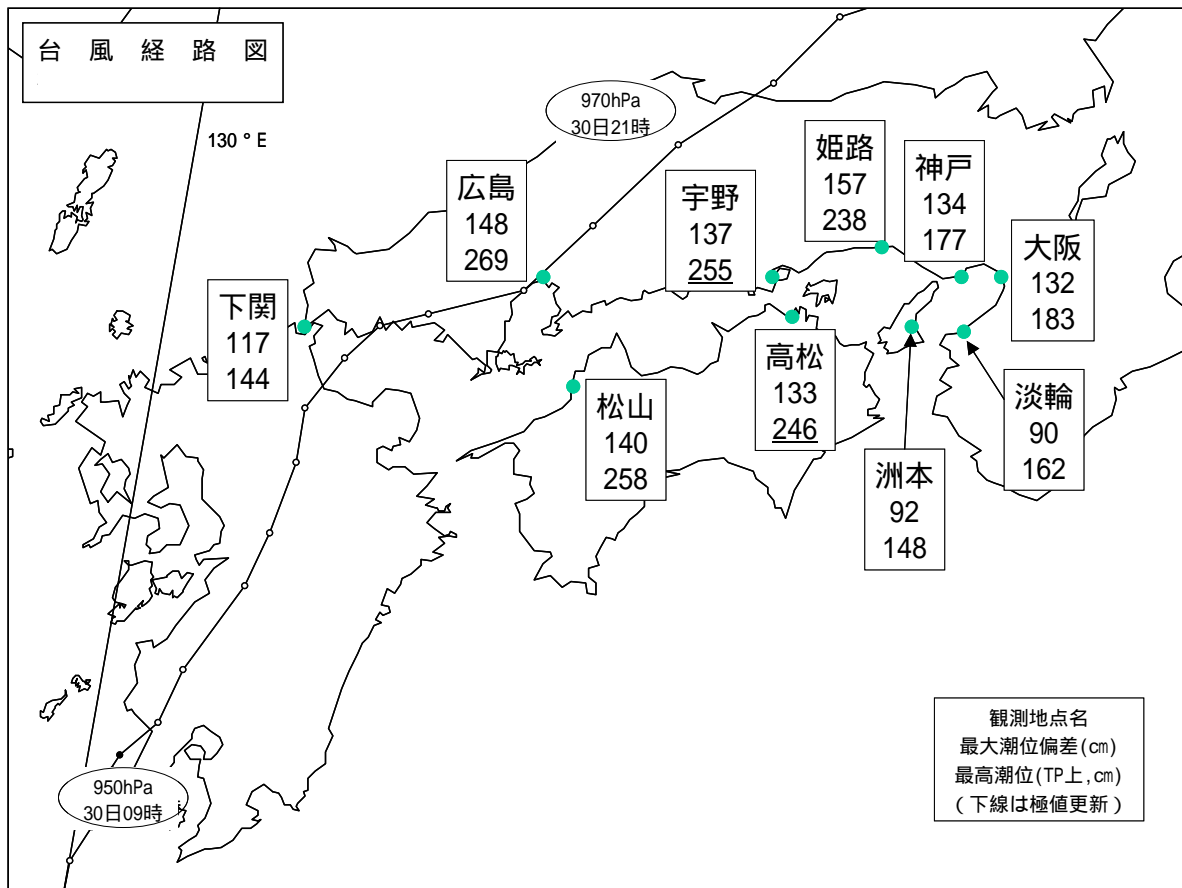


図1 台風第16号の経路と各地の最大潮位偏差及び最高潮位

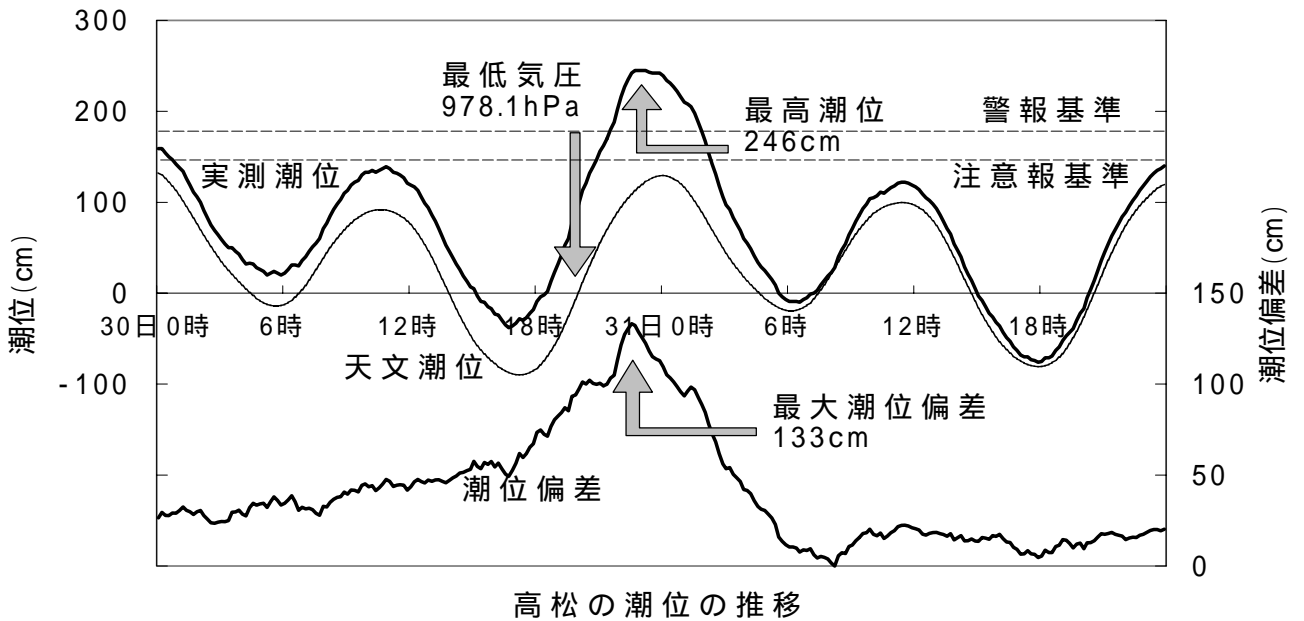


図2 高松検潮所の台風第16号通過時の潮位変化
8月30日夜の天文潮位の満潮時刻は23時59分であり、最大潮位偏差の発生時刻に近い。